

クルリンと ほしぞらさんぽ 4月号



4年生になった皆さんへ

みなさんは「星」に興味がありますか。星よりも「宇宙」ですか。それとも「国際宇宙ステーションISS」とか「宇宙望遠鏡」や「ロケット」ですか。いずれにしても夜空の星を見上げるのが好きな人はいないでしょう。

これから1年間、クルリンといっしょに「ほしぞらさんぽ」をしてみましょう。星の「観察」とか「観測」というようなむずかしい“勉強”ではなく、気軽にながめるだけ、だから「ほしぞらさんぽ」。4年生の理科の学習には月や星のお勉強もありますが、ほしぞらさんぽしている人は、自然に分かってしまいますよ。

4年生が一人で外で星を見上げるわけにはいきません。どうしてもお家の人の協力がいますね。お手伝いなんかもちょうんとしておかないと、いっしょに出かけてくれないかもね。

ほしぞらさんぽの道具とマイ・ポイント

気軽に…ですから道具はほとんど使いません。望遠鏡はもっと大きくなってから。自分の両の目が一番確かな道具ですから、視力を大切にしましょうね。

とは言ってもあると便利なのは(1) 双眼鏡、(2) 星が写せるカメラ、そして(3) 星座早見盤、(4) 赤いライト、です。それぞれのくわしいお話はいずれまた…。

気軽に…ですから、家の近くでほしぞらさんぽしたいですね。危なくないところ、街灯から離れている暗い所、なるべくなら夜空が全部見渡せる広い所か高台、そんなポイントを明るい間に探して「マイ・ポイント」にしましょう。マイ・ポイントでは方角、北をはっきりと確かめておきましょう。

はじめのいっぽ

4月初めの午後8時ごろとしましょう。次ページに国立天文台がネットに公開している星図を借りておきました。出かける前にこの図をよく見ておきましょうね。三角が二つありますね。西側は冬の大三角、東側は春の大三角です。あれ？ この図、へんですね。普通の地図と東西が反対になっ

ていますよ。国立天文台がまちがい？ いいえ、星図はどれもこうなっています。なぜ？

星図を使う時には必ず空を見上げています。上を向いているのですね。この星図を印刷して頭上にかかげ、南を向いて空を見上げてごらんください。すると右手が西、左手が東であることがはっきりわかるでしょう。

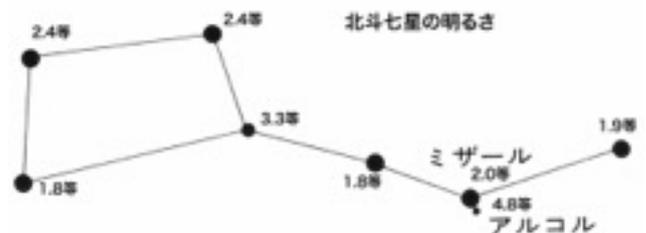
図書館の児童書のたなには星空の本がいっぱいならんでいますから、どの本の星図でも同じになっていることを確かめてみましょうね。

冬と春のふたつの大三角

まず西に沈もうとしている「冬の大三角」を見つけてみましょう。オリオン座のベテルギウス、おおいぬ座のシリウス、こいぬ座のプロキオンです。

星の名前を覚える時には、星座の名前とくっつけて覚えましょうね。おおいぬ座のシリウスは一番明るい星（惑星などをのぞいて）で、距離は8.7光年、地球にぐんと近い星です。オリオン座のベテルギウスはもうすぐ超新星爆発を起こして死んでしまうと言われている赤色巨星で1等星ですが、今は西の空の低いところにいてあまり明るく見えていません。この星は640光年こうねんもはなれている星です。光年って何？ 図書館で子ども用の星の本を借りてきて調べてみましょう。

次に「春の大三角」を探す前に、北を向いて北斗七星を探しましょう。北斗七星が星座名でないことは知っていますね。おおぐま座の一部分です。ちょうど下の図のように見えていると思います。これをひしゃくの形と言いますよ。このひしゃくの柄え=持ち手のカーブをそのまま伸ばしてい



くと明るい星が一つ見つかります。まだ低い空にあるので注意して探してね。それがうしかい座のアルクトゥルス、距離38光年にある1等星で赤っぽく見えていると思います。

北斗七星のひしゃくの柄えからアルクトゥルスへの大きな曲線をさらに伸ばした先にあるのがおとめ座のスピカ、1等星でこれは260光年も遠くにある星です。

二つの星が見つかったら春の大三角を探します。うしかい座のアルクトゥルスと乙女座のスピカに組み合わせて大きな三角になる星は、かなり高いところに二つありますが、正三角形に近い方として低い暗い星を選びましょう。これはしし座のデネボラで距離36光年、2等星でちょっと暗くて探しにくいかもしれませんね。南の高い空にある1等星はしし座のレグルスで距離は78光年で

す。1等星の中では暗い方ですが、4月ごろは空高くにあるので目立っていますね。

今回は冬の星座と春の星座の明るい星だけを紹介しました。その他の春の星や星座については、ぜひ自分で調べてみましょう。どうやって？ 市立図書館を活用することですね。図書館の児童書の棚にある本を自分で探して、読みやすい本を選んで借りましょう。

4月こと座流星群 4月22日夜から23日明け方

春は流星群が少ないので、その夜はほしぞらさんぽに出かけましょう。今回は月明かりがありませんからチャンスです。流れ星が流れ出す方向はこと座の方ですが、実際には全天に散らばって流れます。安全な場所にしき物をしいて、ねころがって見るのがおすすめのほしぞらさんぽです。

